

# 第5学年2組 図画工作科学習指導案

指導者 中臣 信丈

## 1. 活動の指針(活動を通して育てたい力)

### b-ふくらむ思い

感じたことや想像したことなどを形や色で思いのままに表す活動を楽しみ、より心地よいもの、美しいものへと新たな思いをふくらませながら表すことを大切にしていく。

## 2. 題材名

「ピカソをかこう」～みて・そして・・・かいて感じるピカソ～(絵で表す) - 6時間扱い -

## 3. 活動の指針と題材のかかわり

4月の出会いから約二ヶ月間子ども達と学習を重ねてきたが、学習全般に渡って大変意欲的に取り組めるようになってきた。特に、「漢字練習をする。」、「ノートをとる。」、「観察用紙をまとめる。」など‘書くことを中心にした学習’においては、大変ていねいに根気強く取り組めるようになってきている。しかし、自分の思いや考えを発表するという面では、間違ふことを気にしたり、表現方法に自信がもてなかつたりしてなかなか発表につながらない子が多く見受けられる。図工の学習においても同様で、5月に取り組んだ「世界に一つの〇〇パズル」では、表したいイメージがあってもその発想や表現方法に自信がもてず、簡単に表現できるデザインで作品を仕上げようとする傾向が感じられた。

そこで、発想することを楽しみながら、自分らしい作品をつくりあげていけることを第一に考え、この「ピカソをかこう」を学習として取り上げることにした。

本題材では、『楽しくデザインされた超現実的な世界のピカソの人物画』を鑑賞した後に、自分で実際に「ピカソ」になったつもりで人物画をかいていく。「ピカソ」になったつもりで絵をかくことを通して、「うまくかけたか・・・?へたじゃないか・・・?」といった意識から解放され、楽しく、安心して絵をかくことを学んでほしいと考えている。

この学習において、子どもたちはピカソのダイナミックな線や色、形と出会うことができる。そして、この線や色、形と出会うことで、今までの生活の中で身につけてきた線や色、形についての既成概念や固定概念から開放され、線や色、形で楽しく遊びながら造形表現活動を進めていくことができる。また、「みる」だけではなく、「かく」活動を通して、子どもたちがピカソの人物画の様々なよさや面白さに気づいていけるような学習を構想していきたい。

## 4. テーマにせまるための具体的な手だて

### (1) 視点1「思いをふくらませる」

○この学習では『楽しくデザインされた超現実的な世界のピカソの人物画』を子どもたちに鑑賞作品としてとりあげる。こうした作品にふれることで「上手に」という意識から解放され、安心してのびのびと造形表現活動を楽しもうとする意識をもたせたい。鑑賞の手順としては、

- ・どの作品が一番好きか?それは、なぜか?
- ・ピカソの作品はどんなイメージがするか?
- ・友だちの思いや考えを聞いて好きな作品が変わった人は?

という意見交換を中心とした手順で行う。こうした手順をふむことで、ひとり一人がしっか

りとピカソの作品に向き合えるようにすると同時に、今までの生活の中で身につけてきた線や色、形についての既成概念や固定概念から開放され、自分が表現したいと思う線や色、形の中で楽しみながら楽しく表現していこうとする気持ちをもたせたい。

○アイデアスケッチの段階では、思いついた表現を用紙に何枚でも自由にかけるようにし、ひらめいたらまずはかいてみるように支援する。そして、教室内にかきあがったアイデアスケッチを掲示し、いつでも他の作品が見られるようにする。その際にピカソのどんな画風を取り入れながらかいたかによってジャンル分けして掲示し、自然に表現の違いに気づくことができるようにする。たくさんアイデアスケッチにふれることを通して友だちの表現のよさにふれ、自分の発想を広げたり、深めたりするきっかけにつなげていく。

○彩色をする前には、

- ・ピカソの作品の中で、どの色づかいが一番好きか？それは、なぜか？
- ・自分の作品は、ピカソのどの作品と同じような色づかいにしたいか？
- ・自分の作品の主役の色は？

という意見交換を中心とした活動を行う。そして、こうした手順をふむことで、ひとり一人が表したい色についてしっかりイメージできるよう支援していきたい。

## (2) 視点2「思いをかたちにする」

○「鑑賞の時間」「アイデアスケッチの時間」を充分とることで、思いをかたちにするためのイメージをしっかり広げたり、深めたりできるようにさせたい。「こんな作品にしたい！」というイメージをしっかりもてるようにすることで、ピカソや友だちの作品の中から、自然と表現方法を学んでいけるような雰囲気を大切にしていく。

○ダイナミックな線や色、形との出会いを大切にするという視点から、この「ピカソをかこう」では、絵の具を使って彩色を行っていく。色鉛筆やクレヨンでは出せない絵の具の楽しさや絵の具のもつよさを子どもたちにはこの学習を通して感じ取ってほしいと考える。絵の具の基本的な扱い方については、四月実践「好きな線・好きな色・好きな形」を通して学習済みであるが、この学習を通して絵の具の扱い方を習熟させていくとともに、絵の具による多様な表現方法についても気づかせていきたい。

○絵の具の白や黒が色鮮やかに表現できるという点と、大きくダイナミックな作品に仕上げさせたいという視点から、四つ切り二枚分の段ボール紙に作品をかかせていく。

## 5. 題材のねらい

自分が「ピカソ」になったつもりになり、イメージにあった線・色・形を考えたり、探したりしながら「ピカソ的な人物画」を絵であらわしていく。

## 6. 題材の評価規準（重観点・◎）

	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評価規準	○ピカソの人物画から、ダイナミックな「線・色・形」と出会い、そのよさを感じ取りながら、自分が「ピカソ」になったつもりで人物画を表そうとしている。	◎ピカソの人物画から表したい人物の表現を見つけ、そのイメージにあった線・色・形を考えたり、探したりしながら「ピカソ的な人物画」を表現することができる。	○絵の具のよさを生かしたり、試したりするとともに、段ボールのよさを生かしながら自分が表現したい人物を絵で表すことができる。	○ピカソや友だちの作品を見て、「線・色・形」の面白さやよさなどを感じ取ることができる。

- 7. 準備** 《児童》絵の具 クレヨン マジック 鉛筆  
《教師》ピカソの人物画（鑑賞用） 段ボール紙（四つ切二枚分） マジック  
試しがき用段ボール紙 白のポスターカラー イメージスケッチ用の紙

**8. 指導と評価の計画(6時間扱い)**

時間	○活動内容 ☆★予想される子どもの姿	◆教師の働きかけ 【評価規準】…評価方法
一次 90分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ピカソの人物画を見て一番気に入った絵を発表しよう</p> <p>○いろいろなピカソの人物画を見て自分が一番気に入った絵やその理由を発表する。  ☆すぐを選ぶことができる。  ・「私は～番の作品が好きだな。」  ・「～番の絵は色がきれいでいい。」  ・「～番は形がとても面白い。」  ★なかなか選べない</p> <p>○ピカソの作品はどんなイメージがするか話し合う。  ☆思いついたイメージを発表する  ・「おもしろい。」  ・「子どもっぽい。」  ・「こわい。」  ・友だちの思いや考えを聞いて、作品の見方を変えている。</p>	<p>◆参考作品（楽しくデザインされた、超現実的な世界のピカソの人物画）を数枚用意し、その中から一番好きな絵を選ぶことで、しっかりと絵を見比べられるようにする。</p> <p>◆選べない子には、部分的にでも好きなところがないかなどかなげかける。</p> <p>◆発表を通して、人によっていろいろな感じ方あることに気づかせるようにする。</p> <p>◆発表を通して、ピカソの人物画の中にある共通点や表現の面白さに気づけるようにするとともに、活動に対する意欲を高めていけるよう支援する。</p> <p>【関】…活動の様子・つぶやき・発言  【鑑】…つぶやき・会話・発言</p>
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ピカソをかこう</p> <p>○ピカソになった気分で、小さな紙にいろいろな人物画（アイデアスケッチ）をかいていく。  ☆楽しんで、のびのびとかいている。  ☆一枚の絵をじっくりとかいている。  ☆いろいろな発想方法で、たくさんの人物画を書いている。  ☆ピカソや友だちの作品を参考にしながら、いろいろ考えながらかいている。  ★何も思いつかず手が止まってしまっている。  ★発想がとまり、絵に広がりや深まりが感じられない。</p>	<p>◆完成したアイデアスケッチはジャンルごとに分けながらどんどん黒板に掲示していき、発想を広げたり、深めたりするきっかけにつなげられるようにする。</p> <p>◆思いの深まり、広がりをしっかりとりとみとるよう努力し、その思いに共感し励ますとともに、他の発想ができないかどうか投げかける。</p> <p>◆アイデアが浮かばない子どもには、一緒に話しをしたり、作品集を見たりすることを通して表現したい人物画のイメージがつかめるよう支援する。</p> <p>◆友だちの作品も参考にするように促し、いろいろな表現があることに気づかせる。</p> <p>【関】…活動の様子・つぶやき・会話  【発】…アイデアスケッチ  【鑑】…つぶやき・会話・発言</p>

二次  
1  
3  
5  
分

- アイデアスケッチから絵にしたい作品を選び段ボール紙に下がきをかく。  
☆アイデアスケッチから作品を選び、下がきをかく。
  - ・「どれにしようかな…。」
  - ・「紙が大きくなると難しいな。」
- ☆アイデアスケッチをかき足す。
  - ・新たに浮かんだイメージを絵にかき足す。
  - ・新たなイメージからスケッチ全体をかきなおす。
- ★自分のイメージしたように表現できない。
  - ・どれにしたらいいかわからず、活動が止まっている。
  - ・「満足できるアイデアがない…。」

### 《本時》

- いろいろなピカソの人物画を見て自分が一番気に入った色づかいやその理由を発表する。  
☆すぐに選ぶことができる。
  - ・「私は～番の作品が好きです。カラフルできれいだから。」
  - ・「私は～番と～番の絵が好きです。二つともやさしい色使いだから」

★なかなか選べない

- 絵の具を使って彩色する。  
☆全体としてのイメージを大切にしながらを彩色する。
  - ・「どこからぬろうかな。」
  - ・「一番大切なところはどこだろう？」
- ★イメージ通りにぬれない。

- 彩色した部分とこれから彩色しようとする部分との色の関係を考えながら彩色を続けていく。
- つけ足したい線をかき足す。
- 作品を展示コーナーにおいて鑑賞し、かき直したり、ぬり直したりしながら作品を仕上げていく。

- 作品を飾り、友だちの作品を見合う。  
☆自由に作品を見て楽しむ。
  - ・「どれから見ようかな…。」
  - ・「これおもしろい！」
  - ・「〇〇さんの絵はすごくきれい。」

三次  
4  
5  
分

- ◆段ボール紙をどの向きで使ったらよいかをまず考えてから下がきを始めること、そして、『鉛筆』・『クレヨン』・『マジック』など何を描材として使って下がきをしたらよいかを考えてから始めることを指導する。
- ◆ひとり一人の発想のすばらしさ、表現の工夫などを認めるとともに、「ピカソならどうするかな?」「もう少し工夫できるところは?」などと問いかけていくことで、その子の思いをよりよいかたちにしていけるよう支援していく。
- ◆アイデアスケッチのよさについて話し合いながら、「どの部分を大切にしたいか?」「どの部分に満足できないのか」を考えさせ、気に入ったところを生かしながら下がきがかけるよう支援する。

【発】…作品

【技】…活動の様子・作品

- ◆発表を通して、人によっていろいろな感じ方あることに気づかせるようにする。

- ◆発表を通して、それぞれの色づかいの楽しさや美しさに気づけるようにするとともに、いろいろな色づかいに挑戦してみたいという意欲を高めていけるよう支援する。

【関】…活動の様子・つぶやき・発言

【鑑】…つぶやき・会話・発言

- ◆線を生かして彩色する大切さを説明し、丁寧な仕上がりになるよう支援する。
- ◆全体のイメージを大切にしたい色を決めるように伝える。
- ◆水の使い方・筆の使い方・色の混ぜ方などひとり一人のつまずきに合った支援を行っていく。

【発】…作品

【技】…活動の様子・作品

- ◆全体のイメージを大切にしたい色を決めるように伝える。
- ◆水の使い方・筆の使い方・色の混ぜ方などひとり一人のつまずきに合った支援を行っていく。
- ◆展示コーナーをつくり、そこに作品を置いて作品を見直したり、友だちから感想を聞いたりできるようにする。

- ◆体育館に椅子を置き、その椅子に作品を置いてかざるというスタイルで鑑賞会を開く。
- ◆ピカソの作品集も展示し、人物画以外のピカソの作品も鑑賞できるようにする。

【鑑】…つぶやき・会話・発言・鑑賞カード

## 9. 本時の活動と指導(3/8時間)

### (1)目標

自分の思いをよりよく表せるような色づかいを考え、その色づかいを表現できるように絵の具や筆を工夫して使いながら彩色をしていく。

### (2)展開

時間	○活動内容 ☆★予想される子どもの姿	◆教師の働きかけ 【評価規準】…評価方法
0	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ピカソに色をつけよう</p> <p>○いろいろなピカソの人物画を見て自分が一番気に入った色づかいやその理由について発表する。 ☆すぐに選ぶことができる。 ・「私は～番の作品が好きです。カラフルできれいだから。」 ・「私は～番と～番の絵が好きです。二つともやさしい色使いだから」 ・「私は、～番の色が好きです。面白い色づかいだからです。」</p> <p>★なかなか選べない ・「どれも好きになれないな…」</p>	<p>◆発表を通して、人によっていろいろな感じ方があることに気づかせるようにするとともに、ピカソの人物画の中にある色づかいの共通点や表現の面白さに気づけるようにする。</p> <p>◆発表を通して、作品をどのようなイメージに仕上げたいかを考えられるようにするとともに、いろいろな色づかいに挑戦してみたいという意欲を高めていけるよう支援する。</p> <p>【関】…活動の様子・つぶやき・会話 【鑑】…つぶやき・会話・発言</p>
15分	<p>○絵の具を使って彩色する。 ☆全体としてのイメージを大切にしながらを彩色する。 ・「どこからぬろうかな…。」 ・「一番大切なところはどこだろう…。」 ・「全体的に明るい色にしたい。」 ・「～色はどうやって作れるのかな？」 ・「全体的に暗い色にしたい。」 ・「～番の作品のような色に仕上げたい。」 ☆つけ足したい線があればかき足す。</p> <p>★イメージ通りにぬれない。 ・「色の濃さがなんだか変だな。」 ・「細かいところが上手にぬれない。」 ・「～色が作れない。」</p> <p>★彩色に時間がかかりすぎている。 ★彩色のイメージが広がっていかない。</p>	<p>◆下がきの線を生かして彩色する大切さを説明し、丁寧な仕上がりになるよう支援する。</p> <p>◆全体のイメージを大切にしながら彩色していけるよう『彩色イメージカード』を用意する</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">彩色イメージカード ☆どんな感じで色をぬりたいか☆</p> </div> <p>◆試しぬり用の段ボール紙を用意し、彩色した時の雰囲気をつかめるようにする。</p> <p>◆水の使い方・筆の使い方・色の混ぜ方などひとり一人のつまずきに合った支援を行っていく。</p> <p>◆友だちの作品も参考にするように促し、いろいろな彩色の方法があることに気づかせる。</p>
45分		<p>【関】…活動の様子・つぶやき・会話 【発】…作品 【技】…活動の様子・作品</p>